

降誕節第7週 聖餐礼拝

2016年2月7日 第一礼拝(午前8:00~) 聖餐礼拝(午前10:30~) 夕拝(講演会に合流)

前奏	「いと高きにみ神にさかえあれ」	奏楽者
聖餐の招詞	司会者
※賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここに」	一同
聖書交読	交読文53「ルカの福音書第22章」(新聖歌921頁)	一同
祈分	司会者
感謝の賛美	(新聖歌53)	一同
聖書朗読	新聖歌182「ただ信ぜよ」	一同
黙想	『ルカの福音書』8章19-21節(新約126頁)	司会者
説教	「愛を行うために聞く」	近伸之牧師
黙想	一同
※応答の賛美	新聖歌325「歌いつつ歩まん」	一同
感謝の献金	(新聖歌55)	一同
感謝祈禱	佐藤 鈴子姉
諸報告	司会者
※頌栄の賛美	新聖歌62「天つみ民も」	一同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	一同
※祝福の祈り	近伸之牧師
※後奏	(新聖歌59-7)	奏楽者

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立ください)

司会	近伸之牧師	映像・音響・録音	片山 勝三兄	CS担当	片山 初子姉
集会	横堀 信子姉	奏楽	片山 敬子姉		
	小山 千春姉		横山 洋平兄	掃除	小林 洋子姉
配餐	横堀 正美兄	説教の録画	山崎 敬典兄		

説教メモ

- 神は、御子をお与えになるほどに、世を愛された(ヨハネ3:16)。クリスチャンだけではなく、すべての人の人生の総体が「世」である。人々に救いを伝えようとするとき、そこに愛と尊敬を忘れてはならない。
- 愛することは敬うことである。親が子を愛するとは、この中に神が生きていることを認め、敬うこと。夫婦が互いに愛し合うとは、お互いが、自分の欠けているところを補い合うことを認め、敬うこと。愛を失った情熱は偽善となり、尊敬を失った関わりは独善となる。それは肉の家族でも、霊の家族(教会)でも同じである。
- イエスが言われたのは、肉の家族よりも霊の家族ということではない。肉の家族を愛せない者が、どうして霊の家族を愛することができるか。いずれの家族にしても、最も大切なのは「神のことばを聞き、行うこと」である。家族を愛する(敬う)ために、まず礼拝で神の言葉を聞くことから始めよう。

個人、団体からの来信

2016年2月7日

『世の光』第785号/新潟「信教の自由」講演会再案内(本日午後7時~9時)
新潟聖書学院伝道学特別公開講座「**ゴスペル腹話術セミナー**」のお知らせ[2/25(木)NBにて]/
認知症サポーター養成講座の案内[2/28(日) 14:00-15:30 巻キリスト教会プレイズチャペルにて]

先週の集会出席者数

1/31(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児1 成人男性-	幼児女子3 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児5 成人女性2
1/31(日)	第一礼拝	男2 女2 計4	※月に一回、実用書道教室を開催
	歓迎礼拝	男11 女17 計28	2/1(月) 月曜家庭集会 男2 女4
	(子ども)	男児1 女児5	2/3(水) 阿賀野祈禱会 男3 女6
	夕拝	男1 女1 計2	2/5(金) しゃべり場タビタ 男- 女3 子1
			2/5(金) 金曜祈禱会 男- 女4

諸集会のご案内

2/8(月)	午前9:30	実用書道教室	『創世記』1章1,3,8,27節	指導: 藤田 美保先生
		月曜家庭集会	(休会とします)	
2/10(水)	午後7:30	新潟山形僚禱会	教会堂	司会: 横堀 正美兄
2/12(金)	午後1:30	しゃべり場タビタ	渡邊智子姉宅	問合せ先: 小山 千春姉
2/12(金)	夜	金曜祈禱会	教会堂	
2/14(日) 降誕節第8週				
第一礼拝	午前8:00	司会: 近伸之牧師	献金音響: 片山 勝三兄	
教会学校	午前9:00	担当: 近伸之牧師		
第二礼拝	午前10:30	司会: 片山 健司兄 集会: 小山 千春姉	映像・音響・録音: 片山 浩司兄 奏楽: 横山 洋平兄 説教の録画: 山崎 敬典兄	感謝祈禱: 高橋 尚靖兄 掃除: 小山 千春姉
		前奏: 「主よ人の望みの喜びよ」	開会: 10	感謝: 190 応答: 337
		頌栄: 63	派遣: 54	
主日の予定	第二礼拝において、猪爪湧生くんの祝福式を行います。 午後は録音テープで「やさしい教理の学び」を行います			
夕拝	午後7:30	司会・説教	近伸之牧師	

報告

- 本日の予定
聖餐礼拝の恵みを感謝いたします。この後は昼食をいただき、午後2時から定例役員会やCS教師会などを行います。また、本日午後7時より新潟福音教会において新潟「信教の自由」講演会が行われます。当教会の夕拝も合流いたします。
- 今週の予定
8日(月) 午前9:30より 当教会において実用書道教室
// 午後7:00より 新潟福音教会においてライフラインラリー地区連絡会
11日(木・祝) 当教会有志にて、城山温泉ツアー
13日(土) 午後6時より 新潟福音キリスト教会において連合壮年会の夕食会
- 先週の来会者
1/31(日) 歓迎礼拝: 長尾和裕さんと、小針キリスト教会の荒井信一先生が出席されました。

私の友だちが柴犬を飼っているんですが、その犬が仔犬を二匹生みました。二匹とも元気に育ち、なかなかのお茶目ぶりを発揮したりして、家中の人気者になっていました。でも、このお茶目な仔犬たちも、じっとして動かなくなるときがあることに気づいたというのです。廊下で飼っているそうですが、日のあたらない寒い間は、親子がからだを寄せ合っただけでじっとずくまっています。ところが「あたたかく」となると、仔犬たちはとろとろと動き出すというわけです。

あたりまえと言えばあたりまえですが、私の友だちは、動物たちの活気は温度との関係が大きいことに、今さらながら気づいたと話していました。

かなり前の新聞にこんな記事が出ていました。北海道の屈斜路の近くにポンポン山と言われている山があるそうです。山の表面が空洞になっているらしく、飛び跳ねるとポンポンという音がするところからポンポン山と言われているらしいのですが、この山に、厳しい冬の間にも、たくさんの虫が生息していたというのです。この辺りは火山帯で、土の中は冬でも地熱でポカポカしているからだろうというわけです。

さっきの友だちの仔犬も、また虫たちも、やっぱり「あたたかい」のが好きなんだと思います。

現代はあまりにも寒々とした出来事が多過ぎます。なんだか心の中まで冷えきってしまっているようです。そんな中であればこそ、今、人々が求めているもの、また必要としているものは、やはり「あたたかさ」なのではないでしょうか。普通なら厳しい寒さの中で死に絶えるはずの虫でも、地熱の「あたたかさ」のあるところでは生きることができるのですから。考えてみますと、私のように虫けらのような者でもこうして生きることができているのは、地熱のような「あたたかい」神さまの愛があるからだと思えます。

聖書によるならば、愛というのは「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛がある」のだと告げています。

それを受けてさらに、「神がこれほどまでに私たちが愛してくださったのなら、私たちがまた互いに愛し合うべきです」と勧めているのです。(『ヨハネの手紙 第一』4章10、11節)

まず、「あたたかい」神さまの愛を知ること、そしてその愛をもって、互いに愛し合うという、この「あたたかさ」が互いの間に増幅していくことを願わずにおられません。



空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養っていてくださるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。(マタイ6:26)

2015年度教会目標

「心から進んで」

年間目標 それぞれに違った賜物が与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「彼らはそれを進んでささげるささげ物として【主】に持って来た」(出エジプト35:29)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



2/13(土)ライフ・ラインのつどい in 千葉
「希望のことばを抱いて」関根弘興牧師(写真)

千葉県茂原市で行った「ライフ・ラインのつどい」の様子をお届けします。つどいでは、関根弘興牧師が「希望のことばを抱いて」というタイトルで、ヨハネの福音書3章16節から聖書のお話をしました。また、参加者が共にゴスペルソングを歌い、地元で活動する音楽家の歌も披露されました。

Broadcast for **Expanding Gospel into Niigata**
BEGin。ここから始まる、あなたの伝道。

私たち**豊栄キリスト教会**は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.com>

電子メール: info@toyosakakyokai.com

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

